資 料

資料1 調査団員·氏名

付属資料

1. 調査団員・氏名

第1次現地調査

① 総括 稲葉誠 JICA 無償資金協力部管理・調整グループ長

② 協力政策 武田朗 外務省経済協力局無償資金協力課課長補佐

③ 調達計画 山田好一 (財)日本国際協力システム(JICS)業務部長

④ 計画管理 田中顕士郎 JICA 無償資金協力部業務第 2Gr.交通インフラチーム

⑤ 業務主任/ 坂下治男 株式会社パ シフィックコンサルタンツインターナショナル

道路·橋梁計画

⑥ 道路·橋梁設計 小川直也 (同上)

⑦ 環境社会配慮/ 田中廣 (同上)

自然条件調査

⑧ 調達·建設事情調查/ 山村佳輝 (同上)

施工計画/積算

⑨ 現地調査支援 松本良彦 (同上)

⑩ 現地調査支援 竹林稔雄 (同上)

第2次現地調査

① 業務主任/ 坂下治男 株式会社パシフィックコンサルタンツインターナショナル

道路·橋梁計画

② 道路·橋梁設計 小川直也 (同上)

③ 環境社会配慮/ 田中廣 (同上)

自然条件調查/都市景観設計

⑧ 調達·建設事情調查/ 山村佳輝 (同上)

施工計画/積算

⑨ 街路計画 長瀬和博 (同上)

第3次現地調査

① 環境社会配慮/ 田中廣 株式会社パシフィックコンサルタンツインターナショナル

自然条件調查/都市景観設計

2年次第1次現地調査

① 環境社会配慮/ 田中廣 株式会社パシフィックコンサルタンツインターナショナル

自然条件調查/都市景観設計

2年次第2次現地調査

① 環境社会配慮/ 田中廣 株式会社パシフィックコンサルタンツインターナショナル

自然条件調查/都市景観設計



2. 調査行程

現 地 調 査 日 程 表 (第1次現地調査)

1~4 官団員(稲葉総括、武田、 東務主任/道路・橋梁計画 道路・橋梁設計 (小川直 環境社会配慮/自然条件調査/都 調達・建設事情調査/施工計 也) 市景規設計 (田中廣) 画/積算 (山村佳錦) 現地調査支援(松本良彦) 曜日 街路計画 (長瀬和博) 移動(羽田→関西→ドバ 火 イ)移動(関西→ドバイ→アンマン)水 大使館表敬、JICA事務所打合 2 9/1 を 木 他ドナー表敬 金 団内打合せ 一表敬 9/2 9/3 9/4 ± 他ドナー表敬 移動(成田→シンガポール) 5 移動(シンカ ホール→クウェ-移動(シンカホール→クウェ 日 移動(アンマン→ハーレーン→クウェート) 6 9/5 移動(シンカ・ホ・ール→クウェート) 大使館表敬、陸自表敬 他ドナー表敬、ローカルコンサル打合せ 大使館報告、TV会議 大使館表敬、陸自表敬 他ドナー表敬、ローカルコンサル打合せ 大使館報告、TV会議 7 9/6 月 大使館表敬、陸自表敬 大使館表敬、陸自表敬 9/7 火 他ドナー表敬、ローカルコンサル打合せ 他ドナー表敬、ローカルコンサル打合せ 大使館報告、TV会議 9 9/8 水 木 移動(ドバイ→関西→羽田) 10 9/9 11 9/10 金 12 9/11 13 9/12 第1次現地調査 移動(成田→パンコク) 第1次現地調査 第1次現地調査 移動(バンコク→クウェート) 14 9/13 月 15 9/14 火 第1次現地調査 16 9/15 水 9/16 木 9/17 金 17 TV会議 TV会議 TV会議 移動(クウェート→アンマン) 18 19 9/18 20 9/19 21 9/20 月 22 9/21 火 23 24 水木 9/22 9/23 第1次現地調査 第1次現地調査 第1次現地調査 25 9/24 金 9/25 土 9/26 日 26 27 移動(成田→クウュート) 28 9/27 月 29 9/28 火 9/29 水 第1次現地調査 30 「V会議、移動(クウェート→ TV会議、移動(クウェートー 31 9/30 木 TV会議 TV会議 アンマン) ハンコク) TV会議、イラク側と協議 移動(ハンコク→成田) 32 10/1 金 33 34 10/2 土 10/3 日 成田帰着 移動(パンコク→成田) 35 36 10/4 月 10/5 火 第1次調查国内作業 37 10/6 水 第1次現地調査 38 木 10/7 39 10/8 金 移動(成田→クウェート) 40 10/9 41 42 10/11 月 第1次現地調査 43 44 10/12 10/13 水 TV会議、移動(クウェート→パンコク) TV会議、移動(クウェート→パン TV会議、移動(クウェートー 45 木 10/14 3ク) 移動(パンコク→成田) ハ`ンコク) 移動(ハ`ンコク→成田) 移動(パンコク→成田) 46 10/15 金 成田帰着 成田帰着

現 地 調 査 日 程 表 (第2次現地調査)

1	11/2	火		移動(成田→パンコック)	
2	11/3	水		移動(パンコック→クウェ−ト)	
3	11/4				
4	11/5				
5	11/6				
6	11/7	日		 	
7	11/8				
8			+	 	
9	11/9				
10	11/10	木			
	11/11				
11	11/12				
12	11/13				
13	11/14				
14	11/15				
15	11/16			第2次現地調査	
16	11/17			カンベルも耐圧	
17	11/18				
18	11/19	金			
19	11/20		移動(成田→パンコック)		
20	11/21	日	移動(バンコック→クエート)		
21	11/22	月			
22	11/23	火			
23	11/24				
24	11/25				
25	11/26	金	第2次現地調査		
26	11/27	土			
27	11/28				
28	11/29				
			投手(カナー・ア・ア・)	3夕季//hr (、アンフン)	
29	11/30	火	移動(クェート→アンマン) アノマノに (対)休飯(対等	移動(グエートーアンマン) アンフィーブ目的な機関日本が総	
29 30	11/30 12/1	火水	移動(クエート→アンマン) ブノマハこし関係機関等 17/現地間質テームご版	移動(クエートーーアンマン) アンマンにて関係機関等協議	
29 30 31	11/30 12/1 12/2	水木	移動(クエートーアンマン) アノイフト - し関係機関等 カフン災セ調査アームと励	1779 CONSET SCIMING	
29 30 31 32	11/30 12/1 12/2 12/3	火水木金	移動(クエートーアンマン) / プ∀スト- に関係使関等 がか。 1775ゼロ調査デームと版 移動(アンマン→クエート)	移動(アンマン→ケェート) 移動(成田→パンコック)	
29 30 31 32 33	11/30 12/1 12/2 12/3 12/4	火水木金土	=塞	1779 CONSET SCIMING	
29 30 31 32 33 34	11/30 12/1 12/2 12/3 12/4 12/5	火水木金土日	=塞	移動(アンマン→ケェート) 移動(成田→パンコック)	
29 30 31 32 33 34 35	11/30 12/1 12/2 12/3 12/4 12/5 12/6	火水木金土日月	=塞	移動(アンマン→ケェート) 移動(成田→パンコック)	
29 30 31 32 33 34 35 36	11/30 12/1 12/2 12/3 12/4 12/5 12/6 12/7	火水木金土日月火	=塞	移動(アンマン→ケェート) 移動(成田→パンコック)	
29 30 31 32 33 34 35 36 37	11/30 12/1 12/2 12/3 12/4 12/5 12/6 12/7 12/8	火水木金土日月火水	移動(アンマンーウエート)	移動(アンマン→ケェート) 移動(成田→パンコック)	
29 30 31 32 33 34 35 36 37	11/30 12/1 12/2 12/3 12/4 12/5 12/6 12/7 12/8 12/9	火水木金土日月火水木	=塞	移動(アンマン→ケェート) 移動(成田→パンコック)	
29 30 31 32 33 34 35 36 37 38	11/30 12/1 12/2 12/3 12/4 12/5 12/6 12/7 12/8 12/9	火水木金土日月火水木金	移動(アンマンーウエート)	移動(アンマン→ケェート) 移動(成田→パンコック)	
29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39	11/30 12/1 12/2 12/3 12/4 12/5 12/6 12/7 12/8 12/9 12/10	火水木金土日月火水木金土	移動(アンマンーウエート)	移動(アンマン→ケェート) 移動(成田→パンコック)	
29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40	11/30 12/1 12/2 12/3 12/4 12/5 12/6 12/7 12/8 12/9 12/10 12/11 12/12	火水木金土日月火水木金土日	移動(アンマンーウエート)	移動(アンマン→ケェート) 移動(成田→パンコック)	
29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41	11/30 12/1 12/2 12/3 12/4 12/5 12/6 12/7 12/8 12/9 12/10 12/11 12/12 12/13	火水木金土日月火水木金土日月	参動(アンマンーウエート) 移動(アンマンーウエート) 第2次現地調査	移動(アンマンーウエート) 移動(パンコックーウエート) 移動(パンコックーウエート)	
29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40	11/30 12/1 12/2 12/3 12/4 12/5 12/6 12/7 12/8 12/9 12/10 12/11 12/12	火水木金土日月火水木金土日月	移動(アンマン→ケエート) 第2次現地調査 移動(ケエート→バンコック)	移動(アンマンーウエート) 移動(バンコックーウエート) 移動(バンコックーウエート) 第 2 次現地調査	
29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41	11/30 12/1 12/2 12/3 12/4 12/5 12/6 12/7 12/8 12/9 12/10 12/11 12/12 12/13	火水木金土日月火水木金土日月火	参動(アンマンーウエート) 移動(アンマンーウエート) 第2次現地調査	移動(アンマンーウエート) 移動(パンコックーウエート) 移動(パンコックーウエート)	
29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43	11/30 12/1 12/2 12/3 12/4 12/5 12/6 12/7 12/8 12/10 12/11 12/12 12/13 12/14	火水木金土日月火水木金土日月火水木	移動(アンマン→ケエート) 第2次現地調査 移動(ケエート→バンコック)	移動(アンマンーウエート) 移動(バンコックーウエート) 移動(バンコックーウエート) 第 2 次現地調査	
29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43	11/30 12/1 12/2 12/3 12/4 12/5 12/6 12/7 12/8 12/10 12/11 12/12 12/13 12/14 12/15	火水木金土日月火水木金土日月火水	移動(アンマン→ケエート) 第2次現地調査 移動(ケエート→バンコック)	移動(アンマンーウエート) 移動(バンコックーウエート) 移動(バンコックーウエート) 第 2 次現地調査	
29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44	11/30 12/1 12/2 12/3 12/4 12/5 12/6 12/7 12/8 12/9 12/11 12/12 12/13 12/14 12/15 12/16	火水木金土日月火水木金土日月火水木金	移動(アンマン→ケエート) 第2次現地調査 移動(ケエート→バンコック)	移動(アンマンーウエート) 移動(バンコックーウエート) 移動(バンコックーウエート) 第 2 次現地調査	
29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46	11/30 12/1 12/2 12/3 12/4 12/5 12/6 12/7 12/8 12/9 12/10 12/11 12/12 12/13 12/14 12/15 12/16	火水木金土日月火水木金土日月火水木金土	移動(アンマン→ケエート) 第2次現地調査 移動(ケエート→バンコック)	移動(アンマンーウエート) 移動(バンコックーウエート) 移動(バンコックーウエート) 第 2 次現地調査	
29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47	11/30 12/1 12/2 12/3 12/4 12/5 12/6 12/7 12/8 12/9 12/11 12/12 12/13 12/14 12/15 12/16 12/17 12/18	火水木金土日月火水木金土日月火水木金土日	移動(アンマン→ケエート) 第2次現地調査 移動(ケエート→バンコック)	移動(アンマンーウエート) 移動(バンコックーウエート) 移動(バンコックーウエート) 第 2 次現地調査	
29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48	11/30 12/1 12/2 12/3 12/4 12/5 12/6 12/7 12/8 12/9 12/10 12/11 12/12 12/13 12/14 12/15 12/16 12/17 12/18 12/18	火水木金土日月火水木金土日月火水木金土日月	移動(アンマン→ケエート) 第2次現地調査 移動(ケエート→バンコック)	移動(アンマンーウエート) 移動(バンコックーウエート) 移動(バンコックーウエート) 第 2 次現地調査	
29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48	11/30 12/1 12/2 12/3 12/4 12/5 12/6 12/7 12/8 12/10 12/11 12/12 12/13 12/14 12/15 12/16 12/17 12/18 12/19 12/20 12/20 12/21	火水 木 金土 日月 火 大 ション ション カー ション	移動(アンマン→ケエート) 第2次現地調査 移動(ケエート→バンコック)	移動(アンマンーウエート) 移動(バンコックーウエート) 移動(バンコックーウエート) 第 2 次現地調査	
29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 50 51	11/30 12/1 12/2 12/3 12/4 12/5 12/6 12/7 12/10 12/11 12/12 12/13 12/14 12/15 12/17 12/18 12/19 12/19 12/19 12/20 12/20 12/20	火水木金土日月火水木金土日月火水木金土日月火水	移動(アンマン→ケエート) 第2次現地調査 移動(ケエート→バンコック)	移動(アンマンーウエート) 移動(バンコックーウエート) 移動(バンコックーウエート) 第 2 次現地調査	
29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 51	11/30 12/1/ 12/2 12/3 12/3 12/4 12/5 12/6 12/7 12/10 12/11 12/12/ 12/12/ 12/14 12/15/ 12/16 12/17 12/18 12/19 12/17 12/18 12/19 12/17 12/18 12/19 12/17 12/18 12/18 12/19 12/17 12/18	火水木金土日月火水木金土日月火水木金土日月火水木	移動(アンマン→ケエート) 第2次現地調査 移動(ケエート→バンコック)	移動(アンマンーウエート) 移動(バンコックーウエート) 移動(バンコックーウエート) 第 2 次現地調査	
29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 50 51 51 52 52 53	11/30 12/1 12/2 12/3 12/4 12/5 12/6 12/7 12/8 12/9 12/10 12/11 12/12 12/13 12/14 12/13 12/14 12/15 12/16 12/17 12/18 12/16 12/17 12/18 12/16 12/17 12/18 12/1	火水木金土日月火水木金土日月火水木金土日月火水木金	移動(アンマン→ケエート) 第2次現地調査 移動(ケエート→バンコック)	移動(アンマンーウエート) 移動(水ンコックーウエート) 移動(バンコックーウエート)	
29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 50 51 52 53 54	11/30 12/1 12/2 12/3 12/4 12/5 12/6 12/7 12/8 12/9 12/10 12/11 12/12 12/13 12/14 12/15 12/16 12/17 12/18 12/19 12/20 12/21 12/	火水木金土日月火水木金土日月火水木金土日月火水木金土	移動(アンマン→ケエート) 第2次現地調査 移動(ケエート→バンコック)	移動(アンマンーウエート) 移動(水田一小シュック) 移動(バンコックーウエート) 移動(バンコックーウエート) 第2次現地調査 第2次現地調査 大使館報告	
29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55	11/30 12/1 12/2 12/3 12/4 12/5 12/6 12/7 12/1 12/10 12/11 12/12/1 12/12/1 12/13 12/19 12/19 12/2 12/3 12/2 12/3 12/2 12/3 12/2 12/3 12/2 12/3 12/2 12/2	火水木金土日月火水木金土日月火水木金土日月火水木金土日	移動(アンマン→ケエート) 第2次現地調査 移動(ケエート→バンコック)	移動(アンマンーウエート) 移動(水田一小シコック) 移動(バンコックーウエート) 移動(バンコックーウエート) 第2次現地調査 第2次現地調査 第2次現地調査	
29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 50 51 52 53 54	11/30 12/1 12/2 12/3 12/4 12/5 12/6 12/7 12/8 12/9 12/10 12/11 12/12 12/13 12/14 12/15 12/16 12/17 12/18 12/19 12/20 12/21 12/	火水木金土日月火水木金土日月火水木金土日月火水木金土日月	移動(アンマン→ケエート) 第2次現地調査 移動(ケエート→バンコック)	移動(アンマンーウエート) 移動(水田一小シュック) 移動(バンコックーウエート) 移動(バンコックーウエート) 第2次現地調査 第2次現地調査 大使館報告	

現 地 調 査 日 程 表 (第3次現地調査)

58	3/15	火		移動(成田→バンコック)				
59	3/16	, 4		水		移動(パンコック→クウェート)		
33	3/10	7/\		大使館・陸自報告				
60	3/17	木		第3次現地調査				
61	3/18	金		第6次が起調査				
62	3/19	±		移動(クエート→アンマン)				
63	3/20	日		大使館・JICA報告				
64	3/21	月		イラク現地調査チームと協議				
65	3/22	火		177元に両直7 公と励報				
66	3/23	水		移動(アンマン→ドバイ)				
67	3/24	木		移動(ドバイ→関空→成田)				

現 地 調 査 日 程 表 (2年次 第1次現地調査)

68	4/19	火			移動(成田→バンコック)		
- 30	7/10	_^_		-	移動(パンコック→クウェート)	1	
69	4/20	水			移動(ハンコック→クリエート)		
00	4/ 20	**			大使館報告		
70	4/21	木			2年次第1次現地調査		
71	4/22	金			2千久另1久况地副直		
72	4/23	±			移動(クエート→アンマン)		
73	4/24	日					
74	4/25	月			大使館·JICA報告		
75	4/26	火			イラク現地調査チームと協議		
76	4/27	水					
77	4/28	木					
- / /	// 4/28	20 1			移動(アンマン→ドバイ)		
78	4/29	金			移動(ドバイ→関空→成田)		

現 地 調 査 日 程 表 (2年次 第2次現地調査)

79	5/12	木	移動(成田→バンコック)		
80	i0 5/13 ≦	金	移動(バンコック→クウェート)		
80	3/13	亚			
81	5/14	±	大使館報告		
82	5/15	日	2年次第1次現地調査		
83	5/16	月	1		
84	5/17	火	移動(クエート→アンマン)		
85	5/18	水			
86	5/19	木	大使館·JICA報告		
87	5/20	金	イラク現地調査チームと協議		
88	5/21	±			
88	3/21	1 -	移動(アンマン→ドパイ)		
89	5/22	日	移動(ドバイ→関空→成田)		

資料3 関係者(面談者)リスト

3. 関係者(面会者)リスト

(1) 在クエート大使館

(1) 在クエート大使館		
氏名	担当	所属
大木 正充	特命全権大使	在クエート大使館
高橋 克彦	参事官	在クエート大使館
Fukushima Shin-Ichiro	一等書記官	在クエート大使館
Urata Hideyuki	一等書記官	在クエート大使館
Yamamoto Daisuke	一等書記官	在クエート大使館
Futagawa Kazuhiko 田村 浩幸	二等書記官 イラク復興業務支援隊LO兼防衛在官補佐官(3等陸佐)	在クエート大使館 在クエート大使館
篠原 康一	イラク復興業務支援隊LO兼防衛在官補佐官 (3等陸佐)	在クエート大使館
(2) 外務省サマーワ事務所	177 及光末切入返除20米的用证目間11日(0 年底17)	压/一 1八庆府
(2) 外務自サマーリ事務別 Kobayashi Hiroyasu		从政化业 —口事政正
Kondo Shigeru	所長/(在クエート大使館公使) 所長補佐/(在クエート大使館一等書記官)	外務省サマーワ事務所 外務省サマーワ事務所
		7下5万日 グマーク 手切刀
(3) サマーワ・イラク復興業		at the state of th
田浦 正人	支援隊長(一等陸佐)	サマーワ・イラク復興業務支援隊
(4) 在ヨルダン大使館		
河野 光浩	参事官	在ヨルダン日本大使館
Kannno Mamoru	二等書記官	在ヨルダン日本大使館
(5) 外務省		
江端 康行	外務事務官/(サマーワ事務所所長補佐)	外務省中 東アフリカ局 中東第二課 サマーワ班
(6) 防衛庁		
立花 尊ユキ	一等陸佐	防衛庁陸上幕僚監部 運用課 運用第二班長
(7) 在ヨルダンJICA事務所	A Ritches	DV HV/4 PLEATIFICATION ALTHUR
森川 秀夫	所長	JICAヨルダン事務所
大久保 久俊	イラク支援班長	JICAヨルダン事務所
カクト クタ 譲尾 進	イラク支援班長補佐	JICAヨルダン事務所
杉村 桂信	イラク支援班企画調査員	JICAヨルダン事務所
(8) イラク実施機関	The second secon	2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 -
	Discotor Compani	State Commission of Boods and Bridges (SCBB), MOCH
Mustafa Abdul Rahman Abdul Sahib Abdul Karim Mohamad	Director General Director	State Commission of Roads and Bridges(SCRB), MOCH SCRB, Al Muthanna
Karam Yara	Director	Design & Study of Roads & Bridges, SCRB
Madiha Al-Rawi	Director	R&B Dept. Ministry under the Deputy Minister
Amel Alsahi	Manager	Bridge Design Dept., SCRB
4	Hundger	Bridge Besign Bept., Berth
(9) その他	In the part of	The late of the la
Elsadig Abunafeesa	Senior Political Affairs Officer	United Nations Assistance Mission for Iraq
Daniel Ruiz	Area Coordinator Lower South Iraq	Haited Nations World Food Decompose
Abdelwahad Mahmoud Jeme	Area Office Coordinator	United Nations World Food Programe
George Franklin Nabil Y Haddad P.Eng	UK Liaison Officer Director of Operations Iraq	Lt. Cdr. Royal Navy Dar al-handasah
Jamal A Afaneh	Senior Electrical Engineer	Dai ai-nandasan
Vahe A Koukouzian	Office Manager	
Amr M. Hamdy	Audit Auurance & Tax Services	Deloite & Touche (Al-Fahad & Co.)
Ihab Ibrahim Abbas	Tax Manager	Deloite & Touche (Al-Fahad & Co.)
Nandakumar Menon	Foreign Corporate Dept.	National Bank of Kuwait
Nabil S. Abu-kaud	Executive Manager, Corporate Banking Group	National Bank of Kuwait
Mustafa Abdut Rahman Mustafa	Director General of The State Corporation for Roads & Bridges	Ministry of Reconstruction & Housing
Masahiro IWABUCHI	Section Chief, Plant Engineering Dept., Engineering Division	NIPPON KOEI CO.,LTD.
Junichi Fukunaga	Electrical Engineer, Plant Eng. Dept., Eng. Div.	NIPPON KOEI CO.,LTD.
Kazuhiro NAGATA	Iraq Support Unit, Marketing & Promotion Dept.	NIPPON KOEI CO.,LTD.
Akira Suzuki	Chief Representative	JAPAN DESK (Kuwait), JAPAN COOPERATION CENTER FOR THE
Takashi SUZUKI	General Manager & Managing Director	MIDDLE EAST Al-Masat Al-Thalath Trading Co. (Mitsubishi) K.S.C.
Takasiii SUZUKI	General Manager & Managing Director	Representative of Mitsubishi Corporation, Japan
Makoto O'HASHI	Managing Director	MITSUI & CO> KUWAIT W.L.L.
Shinya HORIGUSHI	General Manager	ITOCHU Corporation, KUWAIT LIAISON OFFICE
Yukip Kajihara	İ	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
Masatake TASHIRO	Representative & General Manager (for Jordan, Iraq, Syria, Lebanon)	ITOCHU Corporation, Amman Liaison Office
Toshihiko MICHIKI	General Manager, Industrial Machinery Department, ITOCHU Middle East	ITOCHU Corporation
	F.Z.E.	*
Masahiro SHIMAMURA	General Manager, Kuwait/Riyadh/Jeddah Area Manager, Middle East	HANWA CO. LTD.
Sand F. B. Al Sabib	Area Manager, Middle East Deputy Managing Director	AL-Sabih ENGG. & TRAD. CO. LTD.
Saud F. B. Al-Sabih Mouayad Jubair	Managing Director Managing Director	AL-Sabin ENGG. & TRAD. CO. LTD. Anwar Sumer, General Contracting Co., Ltd.
Toru USUI	Manager	NIPPON EXPRESS CO., LTD., Gotanda Air Service Branch
Imtiaz Ahmed	Project/General Forwarding Manager, Logistics Division	Gulf Agency Company (Kuwait) Ltd.
Jerry Fernandes	Logistics Sales Manager, Logistics Division	Gulf Agency Company (Kuwait) Ltd.
Sunil Kapoor	Business Manager - Logistics Services, Logistics Division	Gulf Agency Company (Kuwait) Ltd.
Steve Whittell	Country Manager - Forwarding	Abdulrahman Mohamad Al-Bahar & Sons
Mohammed Al-Roomi	General Manager	Al-Roomi Shipping Agencies
Adel Abu - Hawili	Div. Manager	Al-Roomi Shipping Agencies
Derrick Amara	Sales Manager	Al-Roomi Shipping Agencies
Hassan Ahmad	Executive Director	Iraq Projects Co., Ltd.
Samia A. Hijazi	Country Manager	Al-Alamiah Integrated Trading Corp.
Mike Jones-Mathias	Operations Director	SECURIFORCE INTERNATIONAL
Wolf Weiss	Director of Security	Crescent Security Group Inc.
John C. Price	Logistics Support	Al-Defaf
Larry Key	Managing Director	National Logistics Establishment
Bill Alhussayni	Manager - Contracting Division	AL-BAHAR & BARDAWIL
Awadh Al-Shammari	Assistant Marketing Manager	John Pickle Middle East
Mazin Adnan Nadhir Z. Al-Ani	Senior Engineer, Bauer Representative	BAUER LEBANON S.A.R.L. FOUNDATION SPECIALIST Specialized Prestressing C
Nadhir Z. Al-Ani Safwan Z. Al-Ani	Managing Director Director	Specialized Prestressing C. Specialized Prestressing C.
CONTROL C. 1 Nº/MII	210000	opeomized i resuccioning C.



4. 討議議事録他

The Outline Design Study on the Projects for Construction and Improvement of Roads and Bridges in Samawah and the Suburban Area in Iraq

Subject: Technical Note on the Outline Design Study on the Project for Construction and Improvement of Roads and Bridge in Samawah and the Suburban Aria in

At the Video Conference at JICA Amman Office on 1st, October 2004, Mr. Mustafa explained MOCH's view stating that Samawah North Bridge, Majd Bridge and Darraji Bridge have a priority.

However, Mr. Mustafa and Mr. Sahib confirmed in the follow-up meeting on the same day that the projects to the requested Japan's Grant Aid are as follows (in order of priority). This may be presented to the forthcoming Tokyo Conference during the period of 13-14/Oct/04.

	Type of Fund
1) Samawah North Bridge	Japan's Grant Aid
2) Samawah Bypass	Japan's Grant Aid
3) Majd Bridge	Japan's Grant Aid
4) Darraji Bridge	Japan's Grant Aid
5) Hilal Bridge	Japan's Grant Aid
6) Mahdi Bridge	Japan's Grant Aid

Mr. Mustafa and Mr. Sahib also confirmed that, despite previously stated priorities to the Government of Japan, they will fully respect the outcome of the on-going Outline Design Study by JICA and will accept the outcome of the study by JICA including the priority of bridges to be constructed. Mr. Mustafa and Mr. Sahib stated that they will seek alternative source of funding, including the World Bank, for the bridges that will not be constructed by Japan's Grant Aid.

Amman, October 5, 2004

Mr. Mustafa Abdul Rahman

Director General of State Commission of Roads and Bridges(SCRB), MOCH

Mr. Karam Yara

Director of Design & Study of Roads & Bridges, SCRB

Haruo Sakashita Chief Consultant

JICA Study Team

Ms. Madiha Al-Rawi

Director of R&B Dept. Ministry under the Deputy Minister

Mr. Abdul Sahib Abdul Karim Mohamad

Director SCRB, Al Muthanna

Manager of Bridge Design Dept., SCRB

イラク国「サマーワ及び周辺地区道路・橋梁整備計画」概略設計調査 日本側関係者打ち合わせ第2回テレビ会議議事録(東京⇔クウェート)

日 時:平成16年9月30日 14:00~15:30 (日本時間)

場 所:【東京】JICA市谷国際総合研修所 【クウェート】PCI クウェート事務所

出席者:

【東京】

外務省無償資金協力課 有馬首席事務官、光橋課長補佐、猶野外務事務官 JICA 無償資金協力部業務第二グループ交通インフラチーム 荒津チーム長、田中 PCI 陸上交通事業部 丸岡事業部長、吉野部長、物江

【クウェート】

外務省 在クウェート大使館 浦田一等書記官

陸上自衛隊 田村三佐(駐在武官付連絡将校)

PCI 陸上交通事業部 坂下道路技術部長、山村、小川、田中、竹林

— 討議内容 —

調査団から以下に示す調査状況の説明をもって、質疑応答を行った。 調査状況と質疑応答の概要は以下の通り。

【調査状況】

- 1. 対象 5 橋、サマーワバイパスの調査状況について
- ・クウェート滞在中に大部分の調査は完了させ、10月14日を目処にドラフトレポートを完成させる予定である(16日帰国予定)。サマーワ北橋、ヒラール橋は10月末時点で一般図と概算事業費(推算レベル)が作成する予定である。マーディ橋、マジッド橋、ダラージ橋についてはボーリングを実施しないため、図面と概算事業費の精度が落ちる。さらに、サマーワバイパスとサマーワ北の8号線接続部分については事業予定地に入れず、計画詳細が不明であるため、より図面と概算事業費の精度が落ちる。しかしながら、事業実施の是非を検討できる資料は予定通りそろえる予定である。
- ・サマーワ北橋の北岸部は民有地であるため、立ち入りを拒否されているが、橋梁・アプロー チ道路の概略設計には問題はない。しかし、工事着工までには用地取得が必要となる。また、 国道8号線との接続道路の計画線形が不明のため、概略設計が着手されていない。
- ・その他の橋梁については、測量等の調査にて問題はない。
- ・地元施工業者について、現在業者リスト(約30社をリストアップ)作成とともに施工能力確認を実施中である。
- ・ヒラール橋については現地評議会を初めとして事業実施の要望が高く積極的な協力姿勢が見られるが、サマーワ北橋では現在のところ現地コミュニティからそのような動きはない。

- 2. ヒラール橋・サマーワ北橋の橋梁形式について
- ・イラク国内では、PC 桁(桁長 20m から 30m 程度) 製作能力にかかる問題はない。しかし、PC 桁橋として全ての橋梁を同一形式にすると、桁製作工場のキャパシティに問題が生じる可能性があるので、調査が必要とする。
- ・ユーフラテス川と周辺の砂(砂嵐時に橋梁に吹き付けてくる)の塩分濃度が高いことより、 塩害を避けるために RC 構造 (PC 桁) が地元に受け入れられやすい橋梁形式である。
- ・骨材採取地は現地に無いため、200km ほど離れた場所から塩分の少ない骨材を運び入れることになる。

3. 事業実施方式について

- ・ (用地費用負担もドナー側とイラク側が理解している節もあり) <u>用地確保がイラク側負担であることを先方に理解してもらう</u>と共に、用地確保に必要なイラク側の予算状況を明らかにする必要がある。
- ・事業実施の緊急性を考慮すると、本概略調査に基づいて入札図書作成を行うことが効率的であるが、入札図書の精度はできる限り高めていく必要がある。
- ・事業実施の緊急性を考慮すると、事業実施方法として次の3つが考えられる。今後、これら を元に本件実施に最適な事業実施方法を検討していきたい。
 - ①JICS が調達代理人で、本邦コンサル、本邦業者が JICS と契約し、本邦コンサルが施工監理をする。(アフガニスタン KK 道路方式)
 - ②JICS が調達代理人で、本邦コンサル、現地業者が JICS と契約し、本邦コンサルが施工監理をする。
 - ③JICS が調達代理人で、本邦コンサルによる CM (建設マネージメント) 方式にて事業を実施する。

【質疑応答】

(外務省)5橋について用地確保されているのか?サマーワ北橋は国道8号線との接続道路を建設しなくとも事業実施が可能か?

(調査団)サマーワ北橋を除く4橋については、堤防道路がありそこまでの用地は確保されている。サマーワ北橋は北側に堤防道路がないが、400m ほど入ったところに公道がありそこに接続すればよい。しかしながら、サマーワ北橋については北側・南側共に用地確保がなされていない。(住民の反対により私有地(なつめ林)での調査立ち入りもできない)

(外務省)事業実施方法②について、P/Q はどのように行うのか?入札図書作成はどのようにするのか?

(調査団) アフガニスタン KK 道路と同様に P/Q や入札の実施主体は JICS であるが、P/Q 関連資

料作成、入札図書作成はコンサルタントが実施する。本来なら D/D まで実施したうえで発注すべきであるが、事業実施の緊急性を考慮すると、KK 道路・KH 道路と同様に、概略設計に基づいて入札図書を作成することも可能である。なお、概略設計に基づく入札図書をもって現地業者の選定を実施する場合、地元業者が施工図面をどこまで作成できるかという不安がある。P/Q の実施方法も含めて今後検討する。

(JICA) 事業実施方法①について、業者が現地に入れない場合、業者はトンネル会社とみなされるのではないか?

(調査団) 現地業者のみでは、緊急時・事故発生時の対応、クウェート等第三国での資機材調達が不安であると共に、資金がショートした場合の対応が心配である。本邦業者であれば、完工リスクを積極的に負い、資金面で信用性が高い。さらに、イラク業者をクウェートに呼び出して技術指導の実施が可能である。なお、①②のどちらの場合においてもコンサルタントは完工責任を負わない。

(外務省)②にて本邦コンサルタントが現地業者リストを作り、それに基づいて JICS と同一本邦コンサルタントが現地業者リスト作成・選定した場合に、工事完工の責任は現地業者であり、JICS や本邦コンサルタントはその完工リスクを負えない(結果として誰も完工責任を負わない)というのは国内で説明できない。現地業者が完工できずに逃げてしまうリスクを防ぐための今回の現地調査であり、確実に P/Q をする、ボンドを積ませる等の諸条件を検討すべきである。

(調査団)②は地元業者の P/Q を確実にできる場合に実施可能である。また、現地業者の国外での信用はなく、外国金融機関はボンド発行に際し受注費の 100%が必要だとしている。

(外務省) セクタープログラム方式の場合は日本業者を指名し、日本業者に完工リスクを負わせる方式のほうが、日本政府として完工責任説明をしやすい。

(外務省) 現地に入ることのできる第三国業者はないのが?また、彼らはどのように事業を実施しているのか?

(調査団) インド、トルコの業者が入っており、実際の現場管理を実施していると聞いている。 今後調査する。

(JICA) 事業実施方法③の CM (建設マネージメント) 方式の場合、どのような枠組みになるのか?現地建設業者が入る、若しくは現地建設業者が入るのか?

(調査団) どちらも考えられる。しかしながら、コンサルタントの負うリスクが大きく、コンサルタントにそれだけの資金的な体力があるか不安がある。通常は、受注業者がパフォーマンスボンドを支払うが、地元施工業者にパフォーマンスボンドを支払う能力はないと思われる。したがって、業者の選定方法が非常に重要になる。アフガニスタン緊急無償方式(CM(建設マネージメント)方式)でコンサルタントが日本業者を指名し工事を請け負う方式も考えられるものの、本

件についてはアフガニスタンの道路工事の場合とは異なり、資金負担、完工責任等コンサルタントのリスクが大きいという問題がある。

日本業者・現地業者以外に第三国の施工業者を選定することも考えられるため、現在イラク国内で工事を行っている第三国施工業者の調査を行う。具体的には、インド、トルコの施工業者が工事を行っており、その業務の工事内容・規模、実際にその施工業者の人間が現場で監理しているか等を調査する。

以上

イラク国「サマーワ及び周辺地区道路・橋梁整備計画」概略設計調査 第1回イラク関係者との打合わせテレビ会議(東京⇔アンマン)

日 時: 平成 16 年 10 月 1 日(金) 20:00~21:30 (日本時間)

14:00~15:30 (ヨルダン時間)

場 所:【東京】JICA 本部 11 階 TV 会議室 【アンマン】JICA ヨルダン事務所

出席者:

【東京】

外務省無償課:鈴木無償課長、光橋課長補佐

JICA 無償部:稲葉管理・調整G長、美馬業務第二G長、荒津交通インフラT長、田中、相良

JICA 中東欧州部:矢部調査役

PCI:小川、物江

【アンマン】

イラク住宅建設省

Director General of SCRB: Mr. Mustafa Abdul Rahman

Director of R&B Dept. at the Ministry under the Deputy Minister: Ms. Madiha Al Rawi

Director of Design and Study of Roads and Bridges at SCRB: Mr. Karam Yara

Manager of Bridge Design Dept. : Ms. Amel Alsalhi

Director SCRB of Al Muthanna : Mr. Abdul Sahib

外務省在ヨルダン日本国大使館:河野一等書記官

JICA ヨルダン事務所イラクユニット:大久保次長、杉村企画調査員

PCI: 坂下業務主任、松本調査団員、竹林調査団員

Dar Al-Handasah: Mr. Amman Jamal A Afaneh

— 討議内容 —

日本側・イラク側から各参加者の自己紹介を行った後、アジェンダに従って質疑応答を行った。 要旨は以下の通り。

(PCI アンマン) 5橋とサマーワバイパスについて、各種資料を受領した。これら資料にはこれまで十分な情報が無かったマジッド、ダラール、マーディ3橋の中心線も示されている、但し、サマーワ北橋の北側の8号線との接続道路4km及び南側接続道路1km、サマーワバイパスの中心線(新規建設部13km、拡幅部14km)は設定されていない。

(住宅建設省)中心線が設定されていない区間について、サマーワバイパスの中心線測量は半分完了しており2週間後には終了する見込み。また、サマーワ北橋はその1週間後に調査を完了する予定である。

(JICA 東京) 5橋について、設計耐用年数をどう考えるか?緊急性の高い橋梁は設計耐用年数を短くする代わりにより早く竣工させると言う方法もある。

(住宅建設省)維持管理の負担の少ない、<u>コンクリート構造による恒久橋</u>としてほしい。(ユーフラテス川や周辺の土壌には塩分が多く、鋼橋よりコンクリート構造が好ましいと言う背景もあり)浮橋については過去に苦い経験があり、十分な荷重に耐えられないので廃止する方向にある。またできる限り早く着工してほしい。このために技術者、ラボの提供等イラク側からも様々な協力が可能。橋梁建設事業による雇用の確保も重要視している。

(JICA 東京) 今後の事業実施に伴う用地確保も含め、イラク側の現状認識と将来展望は如何?また、サマーワ北橋、サマーワバイパスでは地主からの協力が得られず、現地調査を実施できない区間もある。私有地立ち入りのため、道路橋梁局に現地調査への同行を願いたい。

(住宅建設省) 土地収用については法律に基づき行われ特に問題は生じない。土地収用にあたっては法務省・州・裁判所代表からなる委員会を設け交渉を行う。US 協力による 800km の道路改修においても十分な補償金を支払い、土地所有者との交渉は問題なく行われた。なお、用地確保についてはイラク側の責任であり、かかる費用はイラク側負担と理解している。 また、調査立ち入りに対する地主住民の反対については、現時点では説明が十分でない可能性もあり、今後、十分に説明したい。道路橋梁局職員が現地調査に同行し、私有地立ち入りをスムーズにしたい。

(JICA 東京) サマーワ北橋、ヒラール橋に次いで、残り3橋の優先度を確認したい。

(住宅建設省)優先順位は①サマーワ北橋、②マジッド橋、③ダラージ橋、④ヒラール橋、⑤マーディ橋である。マジッド橋、ダラージ橋は世銀にも要請したものの優先度が低いとして実施を2005年以降とされたが、緊急性が非常に高く是非とも日本の無償資金協力にて建設できればと考えている。(会議後に調査団が住宅建設省に再確認したとこり、優先順位は最終的には調査団の結論を尊重するとの発言があった)

(JICA 東京) 各橋とも緊急性が高いことは理解しているが、どんなに急いでも完成は着工後 1.5 ~2 年を要することも理解してほしい。

(住宅建設省) 小さな橋でも1年、大きなものであれば2.5~3.5年間は必要と理解している。

(外務省無償課長)ムサンナ県での草の根無償道路案件2件に関しては予算、書類ともに準備が 完了しているが、書類への担当局長による署名が得られないため、進められない状況にある。

(住宅建設省)資金源と業者承認権の関係に対する考え方の相違、業者選定手順がイラク側所定の手順が異なること、署名権限の問題等があり署名が遅れている。こうした問題に対応するために双方で連絡を取り合う体制づくりを提案したい。また、イラク側では書類の署名権は基本的に地方で無く中央にあることを理解いただきたい。

(外務省無償課長) 日本側としては、本件の緊急性に鑑み、イラク側でも官僚主義を廃し、迅速

にプロジェクト推進方お願いしたい。また、本件は小規模でもあり現地サマーワで協議・実施することとしたく、住宅建設省で十分な内部調整及び地方への権限付与をお願いしたい。

イラク側で日本の無償資金協力の仕組みへの理解が不十分なことにも原因があるようなので、本日の会議出席者がアンマン滞在中にその説明を行いたい。(5日(火)15:00にJICAョルダン事務所で協議予定)

(住宅建設省)署名権限の地方移管については省内部で検討する。

以 上

The Outline Design Study on the Projects for Construction and Improvement of Roads and Bridges in Samawah and Suburban Area in Iraq

Notes of Meeting

Date/Time:

3 October, 2004

14:00 - 16:30 (Amman Time)

Venue:

Meeting Room III, Four Seasons Hotel, Amman, Jordan

Attendees:

Mr. Mustafa Abulrahman (Director General of SCRB)

Ms. Madiha Al Rawi (Director of R&B Dept. at the Ministry under the Deputy Minister)

Mr. Karam Yara (Director of Design and Study of Roads and Bridges at SCRB)

Ms. Amel Alsalihi (Manager of Bridge Design Dept.)

Mr. Abdul Sahib Abdul Karim Mohamad (Director SCRB of Al Muthanna)

Mr. Matsumoto Yoshihiko (PCI)

Mr. Toshio Takebayashi (PCI)

Matters confirmed/agreed:

- "The order of priority of 5 bridges to be constructed in Samawah and suburban area Sequence of Events" dated 2/Oct/04
- (1) 1st draft of the above memorandum was distributed to Mr. Mustafa and the other 4 Iraqi officials for comment and confirmation. The memorandum was confirmed true and acceptable subject to correction of minor typographical errors. The final version incorporating such corrections are attached hereto.

2. Geotechnical Data

Mr. Mustafa confirmed that Samawah North Bridge, Majd Bridge and Darraji Bridge have sufficient geotechnical data taken from 2 soil borings per bridge, and all of those data will be provided to PCI as soon as he returns to Baghdad. He further mentioned that the geotechnical conditions in the area are quite uniform located in a large Euphrates River Basin.

Data are retained by NCCL (National Center of Construction Laboratory).

3. SCRB's on-going projects

Mr. Mustafa agreed to provide PCI with the following information as soon as they return to Baghdad.

- (1) List of all on-going projects, including the contract sums, the contractors ' names and the accomplishment %
- (2) Standard Tender Procedure of SCRB projects
- 4. Questionnaire attached to the Inception Report

Mr. Karam Yara confirmed receipt of the Questionnaire and agreed to hand the filled-up Questionnaire to Dr. Emad of Dar Al-Handasah as soon as they return to Baghdad.

5. Demarcation of roles of Central Government and Local Units

Mr. Mustafa clarified about the SCRB structure and the relationship between SCRB and Governorate as follows:

- (1) A Governorate (Governor, Council of Governorate) does not have jurisdiction over SCRB office in the Governorate. SCRB Baghdad represented by Director General (Mr. Mustafa) has.
- (2) For any contract regarding SCRB projects, Minister of MOCH or two Dept. Ministers of MOCH or Director General (DG) of SCRB has power to sign depending upon the magnitude of project cost.
- (3) In any case, a SCRB office in a Governorate does not have power to sign contract documents unless DG authorizes it based upon Minister's approval.
- 6. Bench Marks for 5 Bridges and Samawah Bypass

Mr. Mustafa confirmed all Bench Marks are already on site.

7. Navigation Requirements

Ms. Amel confirmed as follows:

- (1) The survey/design reports provided to JICA during the video conference on 1/Oct/04 consider the navigation requirements confirmed by Ministry of Water Resources.
- (2) For Samawah North Bridge and Daraji Bridge the navigation clearance is 4m above HWL (Highest) and 24m wide. For the other bridges over the river branches, 2m above HWL and 20m wide. For information, Tigris River requires 6.25m x 24m.
- (3) If the contractor wants to leave temporary bridges after completion of the works, the

same navigation requirements as permanent bridges should apply.

8. Environmental Matters

Mr. Mustafa mentioned that Ministry of Environment was established only in August 2003 and is not very active yet.

9. Land Matters

Mr. Mustafa mentioned as follows:

According to the flaw, most of lands in Iraq are owned by the Government and rented to land users.

- (2) For 5 bridges in Samawah, no house will be affected and no residents will need to be removed. For Samawah Bypass, a few houses will be affected, which could be easily resolved by reasonable compensation. (Any land acquisition shall be fully responsible to MOHC under Japanese Grant Aid Project)
- (3) Temporary works yards such as production/storing yards for concrete girders will be able to be arranged without difficulty.

10. Others

- (1) Iraq Government's fiscal year starts in January ending in December (previously, April to March). In June each Ministry submit a budget proposal to MOP followed by discussions to agree in September to December.
- (2) Design calculations are available for 5 bridges and provide to PCI for reference.
- (3) Iraq standards are mainly based upon BS, Iraqi Standard, AASHTO and DIN.
- (4) SCRB manages projects in accordance with their Specifications (Green Book) and Conditions of Contract for civil engineering and instructions issued by Ministry of Planning.
- (5) SCRB office in a Governorate sets up Resident Engineers office for each project, and Director of SCRB office in a Governorate play a role of Senior RE. Besides, SCRB Baghdad occasionally conducts independent inspection of projects. Many other offices and Ministries visit the site relatively frequently.
- (6) For bridge bearings and expansion joints, GHH (Germany) and Freyssinet (France) were used. For pre-stressing, Freyssinet was frequently used.
- (7) SCRB prefers to use post-tensioning system for concrete beams in order to provide training to its staff. There is no launching girder available in Iraq.
- (8) There are 7 State-Owned Contractors. Private contractors are classified based upon various criteria. There is Contractor's Union.
- (9) SCRB is considering to use Mobile Laboratory to conduct various tests for the project.

The current facilities in Samawah can handle daily testing for earthworks and concrete works, leaving a little complicate tests with Baghdad (ex. Laboratory Soil Tests). As QC structures, MOP has Quality Control Office and MOCH has NCCL (National Center of Construction Laboratory).

- (10) Through the rehabilitation works for the infrastructures ruined by the Gulf War, engineers at relatively young ages had been trained, and they keep studying up-to-date technologies utilizing INTERRNET and the Government has been dispatching engineers to outside the country for study. However, they need to be trained further to catch up other countries.
- (11) In the civil engineering society in Iraq, the soft portion such as management, planning, design, scheduling and supervision are with the Government side with an occasional help of consultants/universities for complicated works, while contractors take charge of the hard portion, i.e. just to construct as directed.

##########

Appendix: Documents provided by Mr. Mustafa to JICA/PCI during the meetings from 1/Oct/04 to 3/Oct/04

- a. The Application form for Japanese Grant Aid Muthana Project Title: Construction Samawah North Bridge
- b. The Application form for Japanese Grant Aid Muthana Project Title: Second Carriageway of Samawah – Nasiriyah Road
- The Application form for Japanese Grant Aid Muthana Project Title: Construction of Samawah by pass Road
- d. The Application form for Japanese Grant Aid Muthana Project Title: Replacement of an existing four floating Bridges (Majd, Darraji, Hilal & Mahdi)
- e. Republic of Iraq, Ministry of Planning, Legal Department, Conditions of Contract For Civil Engineering Works 1987
- f. No. (35) for the year 2002, Law of Main General Roads (Legal Translation)
- g. Design Calculations for 5 bridges
- h. World Bank, Projects Proposed by Ministry of Housing and Construction, TV Conference July 7th, 2004
- i. Basic Study on the program formation for Reconstruction and Rehabilitation infrastructure in Iraq, List of proposed projects (Roads and Bridges)
- j. Priorities list of Roads and Bridges projects in Muthana Governorate
- k. Map showing USAID's projects near Samawah

イラク国サマーワ及び周辺地区道路・橋梁整備計画概略設計調査:

会議議事録

1. 日 時: 2004年10月14日 16:00~17:30

2. 場 所: PCI クエート事務所

3. 出席者: 在クエート日本大使館;田村防衛駐在官補佐官

陸上自衛隊、イラク復興支援群;長田二佐

コンサル団員;坂下業務主任、田中(廣)環境社会配慮/自然条件調査担当、

4. 議題:

- 1) Mr. Ammar のムサンナ県道路橋梁局長との協議結果について
- 2) 調査の内容と今後の調査のスケジュール等について
- 3) 資料の確認
- 4) その他

5. 協議内容:

- (1) 不発弾・地雷について
- ① 長田:陸自が2004年1月にサマーワに入って以来、本件の5橋(サマーワ 北、ヒラール、マジッド、ダラージ、マーディ)について知っている限り、不 発弾・地雷は存在しない。
- ② 長田: サマーワバイパス、サマーワ北橋の北側 Access 道路(約4 Km) については、確認してないので何も言えない。但し、2004年1月以来サマーワでは不発弾・地雷による事故、爆発は発生してない。
- ③ 長田:不発弾・地雷があるかどうかは地元の人が一番知っているので、Dar 社 に地域住民に聞いてもらうのが一番良いのではないか。
- (2) オランダ語の資料
- ① 坂下:オランダ語の資料をお持ちとの発言が、9月7日の会議であったと記憶しているがそれを戴きたい。
- ② 長田: その資料があると思い込んでいたが、調べた結果思い違いであることわった。オランダ語の資料は持ってない。
- (3)舗装
- ① 長田: PZ Plant は民間もいれて、 $4\sim5$ 社がサマーワにある。5 橋について 現地購入でよいのではないか。サマーワバイパスは独自アス Plant が良いと思う。
- ② 坂下:3月と8月時点のアスファルト合材単価の変化を知りたい。
- ③ 長田: 2004年3月は7US\$/SqM(t=10Cm)がこの8月は22US\$/SqM(t=10Cm)となった。しかし、最近15\$まで落ちたが、また上がるかもしれない。

以上

The Projects for Construction and Improvement of Roads and Bridges in Samawah and Suburban Area in Iraq

.

Subject: Technical Notes for the Meeting with Bechtel on the Outline Design Study of the Above Project

1. Date and Time: December 1, 2004 10:00AM

2. Meeting Place; Amman Project Office of Bechtel International System, Inc.

2. Present: Bechtel; Mr. Terry Valenzano (Project Director), Mr. Michael Hadsel (Manager)

PCI; Mr. Haruo Sakashita (Chief Consultant), Mr. Akira Takechi

NK; Mr. Ken Nishino

3. Technical Discussion:

1) Mr. Sakashita; He explained that an Iraq sub-contractor(s) may be sub-contracted for parts of the construction of the above captioned as Japanese grant aid project. A main constructor will manage the construction project and control the sub-contractor(s). He asked Bechtel about the construction amount, sub-contractor's name and completion date of Reconstruction of Al Mat Bridge (Expressway No.1), Partial Reconstruction of Khazir

Bridge and Reconstruction of Tikrit Bridge.

2) Mr. Valenzano; He said that the sub-contractor is Iraqi company for Al Mat Bridge, Turkish company (substantially Iraqi company) for Khazir Bridge and Turkish company for Tikrit Bridge. The cost is 5.4MUS\$ for Tikrit Bridge, and the other two bridges costs are between 2.0-3.0 M US\$. Those three(3) bridges are already completed as Phase-1 projects.

3) Mr. Sakashita asked about the construction cost per square meter for those bridges. Mr. Valenzano said that the construction projects were made without design drawings, and then made with many time construction changes, therefore he does not know accurate cost per square meter. Mr. Sakashita said according to his calculation that the construction cost of Tikrit Bridge might be estimated about 8,500 US\$ per square meter based on an introduction of the home page.

4) Mr. Sakashita;

He asked about an insurance cost for construction, transportation cost with insurance, security guard and survey cost/disposal costs of Land-mine and UXO for those bridge projects. He said that the security guard cost of Japanese project case to one bridge construction section with about one km long including approach roads and a camp yard of about 3.0Ha is estimated to be almost same as its construction cost according to an Australian security guard firm. Iraqi security guard firm offered one forth of an Australian security guard firm's quotation.

5) Mr. Valenzano;

He said that the Australian's security guard cost to the Japanese grant aid project is too much, the other measures should be considered.

He said that Survey and Disposal of Land-mine and UXO to the US phase-1 projects had been conducted prior to the engineering design/survey. A life insurance and security guard cost to the staff of Bechtel Base Camp in Basra airport have been applied.

6) Mr. Hadsel;

He said that the premium to all risk builders insurance had not been paid by the sub-contractors during the sub-contractor's construction activities of the phase-1 project. All risk builders insurance will not be paid also by the sub-contractors of the phase-2 projects, as any insurance company may not be available to projects in principal.

But, big companies such as ABB or GE could get an insurance due to his own past relations with an insurance company. The insurance cost for the transportation was a part of the construction cost. The security guard cost was paid to the sub-contractor as a part of the contract amount in case the sub-contractor's request was reasonable.

The meeting was adjourned at 11:15 AM.

サマーワ及び周辺地区道路・橋梁整備計画概略設計調査								
	調査団面談議事録							
面談日	面談日 2004年12月8日 時間 11:00~13:00 場所 クラウンプラザホテル (クエート)							
面談相手	DFID(British Embassy Office in Basra): Tony Conlay(Team Leader/Transport), Robert Apslay (Power Generation), Frank Fuksa, Project Manager of Samawah Power Plant							
調査団	調査団 坂下治男(業務主任)、田中 廣							
議事内容	事内容 DFID のイラク南部における事業実施の状況について							

議事内容は以下の通り。

- 1) 英国はイラク南部において、サマーワの Power Plant Project を除き、大きなプロジェクトは実施してなく、現在実行しているものは下記のプロジェクトである。
 - Training Program for Institutional Strengthening (Budget: 20M US\$)
 - Small Projects for unskilled people (Budget: 10 M US\$)
 - Emergency Projects for Quick Repair such as Water Supply Pipes, Electricity, etc.,(Budget: 18 M US\$)
 - Others
- 2) サマーワ Power Plant Project (ガスタービン式、40 メガワット=4万KW)
 - 当プロジェクトは、CPA 予算であるがバスラ英国事務所 (British Embassy Office in Basra) が実施しているものである。
 - 設計・入札図書は英国のモット・マクドナルド社によるものである。
 - 契約方式はターンキープロジェクトであり、2004年9月に契約し6ヵ月の工期である。
 - 落札価格はバスラ英国事務所の見積もりの約85%である。
 - 12 bidders の入札があった (One Envelope 方式)。価格を開く前に技術資格審査を 行い 6 bidders に絞った。更に価格を開いてからも技術審査を行い、落札は必ずしも 最低価格ではなく Scoring 方式により落札者を決定した。価格を開いてからも、イラ ク政府側にはその額は提示せずに英国側で決めた。ただし、C P A に対しては技術審 査、価格審査について説明し承認を貰った。
 - 施工業者は USA の Foster Thompson 社である。契約額は 23million US\$である。

- Foster Thompson 社は USA 側スタッフが 4~5人により、イラク Company を使い 工事を行っている。
- 当プロジェクトの Security Cost(警備費)は、契約工事金額のうち5.2%に過ぎない。 他のプロジェクトの警備費は契約額の52%~54%と聞いているとの説明があった。
- 個人の生命保険(Defense Base Act Insurance?) は掛けているだろうが、工事中の All Risk Builders Insurance は掛けてないとの回答があった。ロイド保険会社でも All Risk Builders Insurance は掛からないのだから無理であろうとの説明があった。
- 従い、業者のリスクを軽減するため、フォース・マジュウル条項を採用している。例 えば、もし工事中に襲われて壊されたら、工事は中止し業者の責任は問わない。ター ビン等重要機材が襲われ紛失すれば、工事中は中止し、業者の責任は問わない。コマ メに支払いを行い、業者のリスクを軽減する処置を取っている。
- 地雷・不発弾の調査・除去はオランダ軍にお願いした。費用はタダであった。
- 工事完了後のメンテナンス・ピリオド (瑕疵担保期間) は 6 ヵ月間に設定してあると の事であった。

3) バスラ British Embassy Office の警護

- 大使館内の警護は、Armor Group が請け負っており、大使館の外に出かける場合は、 CRG が請け負っている。
- 必要な車両は全て DFID が所有しており、破損等については全て DFID の責任である。

以上

From: Qadeem Tariq

To: Haruo Sakashita

Cc: tanaka.Kenshiro@jica.go.jp; kent.paulusson@undp.org; hideki.matsunaga@undp.org; koen.toonen@unep.ch;

Michael Mersereau

Sent: Wednesday, December 15, 2004 4:07 PM

Subject: Survey and disposal of UXOs and Mines in Samawah

Dear Mr. Haruo,

I am writing to you on behalf of the UNDP mine action team. Thank you for your message. We are pleased that the process of Request for Proposal (RFP) has started, which we hope will result in some good proposals.

We understand the importance of the work you are planning to undertake and your due concern of the mine/UXO safety before the work can actually start. We also understand the urgency of the mine/UXO survey and clearance work. We appreciate your efforts in this regard.

As far as the management of the project by UNDP is concerned, we discussed this issue among the UNDP mine action team. As I explained during our meeting in early Dec, it is the National Mine Action Authority (NMAA) who has the responsibility for the overall management of mine action in Iraq while UNDP is playing an advisory and support role. Given the fact that NMAA is responsible for the overall management of mine action in Iraq, that UNDP does not have any presence (directly/indirectly employed personnel) in Iraq in general and in Samawa in particular, and keeping in view the UNDP rules and regulations on funding and the urgent nature of the project, it will not be possible and practical for UNDP to undertake the management of this project at this point and time. The UNDP mine action team would very much like to help, however, we are restricted by the UNDP mandate and its regulations.

The possible alternative for the management of the project is the United Nations Office for Project Services (UNOPS) who might be interested to oversee/quality assure the project. Therefore, we would suggest that you contract Mr. Michael, at the following contact information, in this regard:

Mr. Michael P. Mersereau
Senior Portfolio Manager
Mine Action Unit
Global and Inter-Regional Division
UNOPS New York

Tel: +1 (212) 457-1255 Fax: +1 (212) 457-4049

Email: MichaelM@unops.org

UNEP is the only organization who has some information on the use/contamination of Depleted Uranium in Iraq. Below please find communication details for the concerned person at UNEP, who might have some information or may refer you to the concerned person within UNEP.

Mr. Pekka Haavisto

Chairman

Iraq Task Force, Geneva

Telephone: +41 (0) 22 917 85 12 Fax: +41 (0) 22 917 80 64 Mobile: +41 (0) 79 477 08 77

E-mail: pekka.haavisto@undep.ch

Mr. Koen W. Toonen
Programme Manager
UNEP/PCAU, Iraq Programme

P.O. Box 941655

Amman, 11194 Jordan

Mobile: +962.79.642.5647 Office: +962.65.561.225 Fax: +962.65.561.231

Email: koen.toonen@unep.ch
Web: http://postconflict.unep.ch

We hope that the above response is of some help and use. Should you need any further discussion on it, please do not hesitate to call me on my cell phone any time.

The UNDP mine action team would like to take this opportunity to extend to you and your team our good wishes for Christmas and new year.

Warm regards,

Qadeem Tariq

---- Original Message -----

From: Haruo Sakashita

To: qadeem.tariq@undp.org

Cc: tanaka.Kenshiro@jica.go.jp; kent.paulusson@undp.org; hideki.matsunaga@undp.org

Sent: Saturday, December 11, 2004 9:10 AM

Subject: survey and disposal of UXOs and Mines in Samawah

Dear Mr. K. Tariq

Thank you for your kind guidance to UXOs and Mines, and also for your information of UNDP's activities, at the time of meeting with you in Amman on December 1, 2004. We are very much appreciating your advise, regarding professional firms for UXOs and Mines survey and disposal.

1. We asked the three (3) firms of Danish Demining Group (DDG), Mine Tech International (MTI) and Specialist Support Solutions (S3 AG) for their quotations of the above captioned to be submitted to us till December 14, 2004. I send herewith the TOR and Quantities for survey and disposal of UXOs and Mines for your reference.

2. May we ask you, UNDP for your undertaking the management and control of the survey and disposal of UXOs and Mines for the project of Japanese Grant Aid for roads and bridges in Samawah. We wish to talk with you how to use the quotations which we will receive from the above mentioned firms. If you are agreeable to my idea that you will manage fully the UXOs and Mines to the project, I will consult with Japanese Government.

3. If you have an information of depleted uranium(DU) ammunition in As Samawah, please furnish it to us.

-According to RISQ, Dutch troop found a 30mm round of depleted uranium (DU)in the town of As Samawa in December, 2003. The finding is not so dangerous to the health, since the round was not destroyed and DU dust did not spread.

- May we know a contact person who is familiar with DU in As Samawah. I s UNEP familiar with not only Environmental Impact of DU, but also hazard map of DU.

4. Regarding "The project for construction and improvement of roads and bridges in Samawah and suburban area"

The Government of Japan decided to conduct an Outline Design Study (the Study) for Construction and Improvement Projects in IRAQ and entrusted the study to Japan International Cooperation Agency (JICA) to

examine the surrounding situation, identify the scope, confirm the feasibility and prepare an implementation program of the Project.

JICA sent to Jordan and Kuwait the Outline Design Study Team (the Study Team) and the Study Team is scheduled to stay in Kuwait and/or Jordan from 1 September to 27 December, 2004. The Study Team includes engineers of Pacific Consultants International (PCI), Japan.

I am looking forwards to hearing from you about items 2 and 3,

Best Regards	

Haruo Sakashita, Chief consultant of JICA Study Team

Pacific Consultants International Highway Engineering Department

Tel No.: +81-42-372-6038 Fax No.: +81-42-372 6362

E-mail: saka-884@pcitokyo.co.jp

---- Original Message -----

From: Qadeem Tariq

To: Hiroshi Tanaka; saka-884@pcitokyo.co.jp

Cc: Kent; Ibrahim; sollie; hideki.matsunaga@undp.org; Qadeem

Sent: Thursday, December 02, 2004 3:41 PM Subject: Fw: Communication Details-Correction

Gentlemen,

I am sorry I had mistakenly attached a wrong file to my previous message. Please find attached the right file.

Γhanks,			

Qadeem Tariq

Mine Action Capacity Building Advisor

UNDP Country Office-Iraq

16 Samera Street, Um Othaina, Amman

Office Tel: +962 (06) 5536551 Fax: +962 (06) 5536552

Cell: +962 (0) 79 685 4570

---- Original Message -----

From: Qadeem Tariq

To: Hiroshi Tanaka; saka-884@pocitokyo.co.jp

Cc: Kent; sollie; Ibrahim; Qadeem; hideki.matsunaga@undp.org

Sent: Thursday, December 02, 2004 5:12 AM

Subject: Communication Details

Gentlemen,

It was a pleasure to meet you this morning. Attached please find the contact details for some of the organizations involved in mine action in Iraq. I will follow on any information available on ERW situation in Muthanna and Samawa governorates and let you know the result.

Warm regards,

Qadeem Tariq

Mine Action Capacity Building Advisor UNDP Country Office-Iraq

16 Samera Street, Um Othaina, Amman

Office Tel: +962 (06) 5536551 Fax: +962 (06) 5536552

Cell: +962 (0) 79 685 4570

From: "turuq iraq" \(\scrb_iraq@hotmail.com \)

To: <takebayashit@pcitokyo.co.jp>

Sent: Tuesday, November 09, 2004 6:30 PM

Subject: RE: Fw: National Minie Action Authority (NMAA)

Dear Mr. Toshio Takebayashi

We would like to inform you that the route of the bridges are free from mines and radiation, As shown in letters attached. Issued from civil Defense Directorate and Al-Muthana Environment Directorate.

With Best Regards

Mustafa Abdul Rahman Mustafa

D.G of SCRB

From: "turuq iraq" <scrb_iraq@hotmail.com>

To: <takebayashit@pcitokyo.co.jp>

Sent: Thursday, November 11, 2004 6:09 PM

Subject: Re: Fw: National Minie Action Authority (NMAA)

Dear Mr.Toshio

We would like to inform you that Al-Muthana environment directorate/Ministry of Environment is the only responsible & Authorized about fixing the radiation polluted ares.

This directorate clarify in it's letter No. 756 dated October 31,2004 (attached). That the ares was not exposed to the war and if you need more details, please contact directly with the A/M directorate through your representative (DAR Al-Handasa) in Baghdad.

Best Regards

Mustafa Abdul Rahman Mustafa
D.G of SCRB

بسم الله الرحمن الرحيم

العـــد: ٢٥٧ التاريخ: ٢٠١٤/١٠/٢م

وزارة البيئة دائرة شؤون المحافظات مديرية بيئة المثنى

. .

الى / مديرية طرق وحسور المثنى م/ مشاريع المنحة اليابانية

استنادا" الى كتاب مديرية طرق وحسور المثنى المرقم ١٠٧٧ في ٢٠٠٤/١٠/٢ تم اجراء الكشف على المواقع المدرجة ادناه وتبين عدم وجود مؤشرات تشير الى تلوث المنطقة اشعاعيا" لان المنطقة لم تقصف في الحرب الاخيرة وليس هنالك امكانية لمعرفة مستوى الاشعاع فيها لعدم توفر الاجهزة الضرورية لذلك .. للتفضل بالاطلاع ... مــــع التقديــــر .

- ١. جسر شمال مدينة السماوة
 - ٢. طريق السماوة الحولي
 - ٣. حسر بناحية المحد
 - ٤. جسر بناحية الهلال
 - ٥. حسر بناحية الدراجي
 - ٦. حسر بمنطقة المهدي

م.فارس عباس عبد مدير بيئة المثنى / وكالة ۲۰۰٤/۱۰/۲۱

نسخة منه إلى /

- الادارية / للحفظ
- شعبة الرقابة البيئية / وحدة الوقاية من الاشعاع / للمتابعة

(英訳)

By the holly name of God

Ministry of Environment Governorates department Muthanna Environmental Department

To Department of Roads and Bridges in Muthanna, Japanese Grant Projects

In connection with your letter from the Department of Roads and Bridges in Muthanna, Letter No. 1077 dated 25/10/2004. We have inspected the sites listed below. The confirmed that there is no evidence showing any environmental contamination become the region was not bombarded during the last war. And there is no possibility to know the researching of radiation become of the lack of necessary instruments.

Thank you.

- 1. Samawah North city bridge
- 2. Samawah Hawali street (bypass)
- 3. Majid side street
- 4. Hillal side bridge
- 5. Al Daraji side bridge
- 6. Mahdi region bridge

Sares Abbas Abel

Environmental Department in Muthanna

بسم الله الرحمن الرحيم جمهورية العراق

وزاردة الداخلية مديرية الدفاع المدني العامة مديرية دفاع مدني المثنى العدر مع / حدد مع / ٢٠٠٤/١

الى/مديرية طرق وجسور المثنى م/مشاريع المنحة اليابانية

كتابكم المرقم ١٠٧٧ في ٢٠٠٤/١٠/٢٥ نود اعلامكم بان الاماكن المدرجة ادناه خالية من الالغام للتفضل بالاطلاع ... مـــع التقديـــر.

- ١. جسر شمأل مدينة السماوة
 - ٢. طريق السماوة الحولى
 - ٣. جسر بناحية المجد
 - ٤. جسر بناحية الهلال
 - ٥. جسر بناحية الدراجي
 - ٦. جسر بمنطقة المهدي

ر المقدم مسك محسن كاظم على مدير دفاع مدني المثنى ا

(英訳)

By the holly name of God Iraq Government

Ministry of Interior
Civil Defense Department
Muthanna Area
No.9/15. Date: October /2004

To Department of Roads and Bridges in Muthanna, Japanese Grant Projects

We would like to inform you that the region listed below is free of mines and ammunitions. Thank you.

- 1. Samawah North city bridge
- 2. Samawah Hawali street (bypass)
- 3. Majid side street
- 4. Hillal side bridge
- 5. Al Daraji side bridge
- 6. Mahdi region bridge

Officer

Muhsen Kasem Alak $\label{eq:manager} \mbox{Manager of civil defense Department in Muthanna}$ 5/10/2004